

設計課題 「家族のライフステージの変化に対応できる三世代住宅(木造2階建て)」

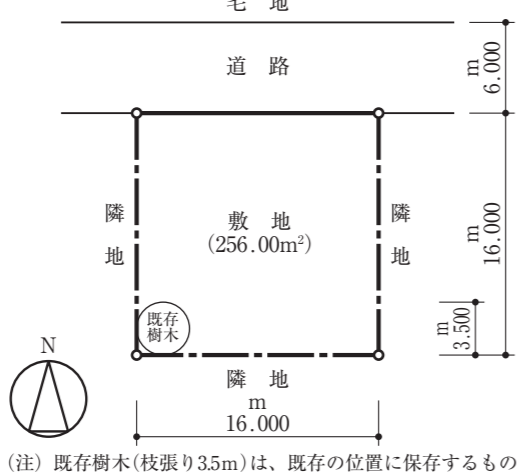
1. 設計条件

ある地方都市の住宅地において、親世帯(妻の両親)と子世帯が同居する、三世代住宅を計画する。

- 計画に当たっては、次の①～④に特に留意する。
①敷地内には家族の大切な既存樹木(シンボルツリー)があり、三世代が集う居間から眺められるように計画する。
②将来の高齢化に配慮し、道路から玄関へのアプローチは、玄関ポーチまで屋外スロープを計画する。
③来客の宿泊、祖父の趣味室として等、多目的に利用できる和室を計画する。和室は、居間に隣接し、居間と一体的に使用することができるようにする。
④外壁の仕上げ材料は、窯業系サイディングとし、通気層を設けた通気構法とする。また、建築物の外皮等(直接外気に接する屋根、外壁、床等)は、断熱性に配慮する。

(1) 敷地

- ア. 形状、道路との関係、方位等は、右図のとおりである。
イ. 第一種住居地域内にあり、防火・準防火地域の指定はない。
ウ. 建ぺい率の限度は60%、容積率の限度は200%である。
エ. 地形は平坦で、道路及び隣地との高低差はなく、地盤は良好である。
オ. 電気、都市ガス、上水道及び公共下水道は完備している。



(2) 構造、階数、建築物の高さ等

- ア. 建築物の耐震性に配慮する。
イ. 木造2階建てとする。
ウ. 建築物の最高の高さは10m以下、かつ、軒の高さは7m以下とする。(注) 既存樹木(枝張り3.5m)は、既存の位置に保存するものとし、この部分には建築物は計画してはならない。

敷地図 (縮尺: 1/500)

(3) 延べ面積

必ず「160㎡以上、200㎡以下」とする。(床面積については、ピロティ、玄関ポーチ、屋外スロープ、駐車スペース、駐輪スペース等は算入しないものとする。)

(4) 家族構成

- ア. 親世帯: 祖父(70歳代: 趣味は将棋)、祖母(70歳代: 足が不自由)
イ. 子世帯: 夫婦(40歳代: 共働き)、子ども1人(女子高校生)

(5) 要求室等

下表の全ての室等は、必ず指定された設置階に計画する。

Table with columns: 設置階, 室名等, 特記事項, 床面積. It lists rooms like 玄関, 居間, 食事室, 和室, 親夫婦室, 洗面脱衣室(1), 浴室(1), 便所(1), 納戸(1) for the 1st floor, and 食事室・台所, 夫婦室, 子ども室, 洗面脱衣室(2), 浴室(2), 便所(2), 納戸(2) for the 2nd floor.

(6) 屋外施設等

Table with columns: 屋外施設, 内容. It lists 屋外スロープ, 駐車スペース, and 駐輪スペース with their respective specifications.

2. 要求図書

- ア. 下表により、答案用紙の定められた枠内に記入する(寸法線は、枠外にはみだして記入してもよい)。
b. 図面は黒鉛筆仕上げとする(定規を用いなくてもよい)。
c. 記入寸法の単位は、mmとする。なお、答案用紙の1目盛は、455mm(部分詳細図(断面)にあつては、10mm)である。
d. シックハウス対策のための機械換気設備等は、記入しなくてよいものとする。

Table with columns: 要求図書()内は縮尺, 特記事項. It lists drawing requirements for 1st floor plan, 2nd floor plan, 2nd floor bed layout, elevation, section, detailed section, area table, and construction table.

下書欄 (目盛4.55mm)

Large grid area for drawing and writing answers, with a scale of 4.55mm.

Registration information fields including 会員番号 (Member No.), 氏名 (Name), and 受験地 (Exam Location).

平成29年 二級建築士設計製図 課題4 問題用紙

(TAC) 無断複写・複製を禁じます。